曽根麻矢子チェンバロリサイタル~絢爛たるバロックの花園にて~



2021年 12月 4日(土) 14:00 開演 13:30 開場 クリエイティブ・スペース赤れんが ホールⅡ

チケット料金 || 全席自由・未就学児入場不可 2,000円 当日2,500円(当日残席がある場合のみ販売)

プレイガイド || C・S赤れんが、山口情報芸術センター、山口市民会館 サンパークあじす、こどもステーション山口事務局

チケット発売 || 10月9日(土)10時~

託児サービス || 11月27日(土)までに要・申し込み。子ども1人500円

主 催 || 山口市、クリエイティブ・スペース赤れんが(指定管理者:NPO法人こどもステーション山口) 連絡先 || C・S赤れんが TEL 083-928-6666



曽根麻矢子 実力、人気ともに日本を代表するチェンバロ奏者。1986年ブルージュ国際チェンバロ・コンクールに入賞後、故スコット・ロスに指導を受ける。1991年には、エラート・レーベル初の日本人演奏家としてCDデビュー。2003年からJ.S.バッハ連続演奏会全12回、2010年からクープランとラモーのチェンバロ作品全曲演奏会を12回行い、好評を博した。録音は「J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲」ほか14枚のソロ CDをリリース。出光音楽賞、飛騨古川音楽大賞奨励賞を受賞。2018年より「チェンバロを学ぼう!」シリーズを松本記念迎賓館にてスタート。国内外の一流アーティストを招き通奏低音やバロックダンスなどの多彩なテーマによる、演奏家ならではのレクチャーやマスタークラス等をプロデュースしている。2021年春より、HAKUJU HALLを舞台に、バッハの主要作品を数年間にわたって演奏するコンサートシリーズをスタートさせた。

曽根麻矢子オフィシャル・ウェブサイト http://mayakosone.com/

山口の皆様こんにちは。6年ぶりに赤れんがさんで演奏させていただくことを大変嬉しく思っております。この先いつ何が起こるかわからない世界状況の中、今という時間をますます大切に、深い感謝を持って、自分の使命を全うして毎日を無駄なく生きたいと強く思う日々です。生きている事の有り難み、音を出せる喜び、聴ける喜び……チェンバロの音色を通して皆様と繋がれる時間を心から楽しみにしております。

ラモー 鳥の呼びかわし、タンブラン、村娘 ダングルベール 組曲第二番

クープラン クラヴサン曲集より第13オルドル

ほ か プログラムは変更になる場合があります

赤れんがのチェンバロ

チェンバロは16-18世紀にヨーロッパの貴族の象徴としてひろく用いられた、鍵盤を持つ撥弦(はつげん)楽器です。その時代や国によって独特なつくり(製作技術)をしています。鳥の羽軸(うじく)などで作られた小さな爪(プレクトラム)が弦を下から上へはじくことによって発音されます。

1551年、フランシスコ・ザビエルがキリスト教布教の許可を得るため、大内義隆に「マニコルディオ」という楽器を贈りました。「マニコルディオ」とは小型で箱形の楽器でしたがその後改良されてチェンバロになったと伝えられています。

1995年、山口市はこの史実にちなんで、大内氏の家紋「大内菱」と、ザビエルの紋章を施したチェンバロを製作しました。爪にはコンドルの羽軸を使っており、優雅で華やかなその音色は聴く人を魅了しています。

18世紀フレンチモデル/2段鍵盤/音域5オクターブ

全長236センチ/幅94センチ/高さ98センチ

[楽器製作者] 佐藤裕一(神奈川県) [装飾] 高倉由美子(宮城県)

「問い合せ]

クリエイティブ・スペース赤れんが (株館日:毎週月曜、祝日の翌日) 〒753-0088 山口市中河原町5-12 TEL 083-928-6666 FAX 083-928-6611 e-mail renga-ya@c-able.ne.jp http://www.akarenga.justhpbs.jp/

[赤れんがへの交通案内]

- 山口宇部空港から・・・ 高速連絡バスで J R 新山口駅まで30分
- J R 新山口駅から・・・ 山口線にて山口駅まで24分、 同駅より徒歩15分
- お車の場合・・・ 山陽自動車道(防府東IC下車、または九州・中国自動車道(小郡IC下車)より、共に30分

